

団体名		公益財団法人 武蔵野健康づくり事業団				
①	指標名	健康づくり講座の実施回数			目標値	120回
	過去の実績	平成25年度	平成26年度	平成27年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位: 回)	39	70	170	平成27年度の実績には自主グループ立ち上げ支援の講座76回実施が含まれており、それを除くと94回。	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目				(9) 公益法人改革への対応	
	設定理由等	公益財団法人としての使命を果たすため、地域との連携を主体とした健康づくり意識の啓発・普及事業を推進していく。27年度は自主活動グループの立ち上げのため集中的な講座を実施したが、28年度は地域団体等との連携・協力を更に進め、地域の特性に合わせた講座を幅広く実施することとし、目標値は120回とする。なお、自主活動グループの課題整理・検証を行うが講座回数にはカウントしない。				
取組内容	①地域の特性や要望に沿った支援となるよう、コミュニティ協議会や集合住宅自治会等地域の団体との連携による事業を進める。 ②27年度に立ち上げた健康づくり自主活動グループが継続的に活動を続けていくよう支援を行う。 ③市民グループ等に行っている「健康づくり出前講座」の新規申請団体を増やすため、健康づくり推進員を中心として、積極的にPRを行う。					
②	指標名	健診事業収益			目標値	60,000千円
	過去の実績	平成25年度	平成26年度	平成27年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位: 千円)	58,506	57,767	59,166	人間ドック受診者数に応じて増減がある	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目				(1) 経営健全化の確保	
	設定理由等	自主事業収益の主要な柱は、人間ドック等健診事業収入であることから指標とした。健診事業収益を増やし、経営の健全化を図る。目標値は、これまで5,000万円台であったことから6,000万円を目指す。				
取組内容	①人間ドック受診者、事業所健診の新規受診者(事業所)を増やすため、一層の広報の充実を図る。 ②人間ドック受診者へのアンケート調査を行い、よりよい健診施設となるよう努める。 ③保健指導の充実などにより、健診の魅力を高める。					
③	指標名	研修への参加者の割合			目標値	100%
	過去の実績	平成25年度	平成26年度	平成27年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位: %)	100	100	95.7	平成25年度から研修等参加に積極的に取り組んでいる	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目				(4) 団体職員の人材育成と財政基盤の強化	
	設定理由等	職員研修要綱に基づき、研修への参加を積極的に進めている。平成25、26年度は全員参加を達成しているが、人材育成のため、引き続き目標値として設定した。				
取組内容	①各職員が積極的、自発的に研修参加を希望するよう促す。 ②上級救命講習については、新規職員に受講させるとともに定期的に更新研修を受講させ、全職員受講体制とする。 ③研修参加だけでなく、市が実施する研修会、各種検討委員会に参加し、市等の動向を把握するとともに人材育成の機会とする。					